

長野県野球協会・指導者委員会主催 協力：長野県野球連盟

令和8年度『指導者講習会』報告書

指導者委員会委員長 宮崎達也

- 1 日 時 2025年(令和7年)12月14日(日) 13:30~15:30 (受付 13:00~13:20)
- 2 会 場 松本市浅間温泉文化センター 大会議室 (松本市浅間温泉 2-6-1)
- 3 目 的 長野県の青少年(小学生・中学生・高校生)野球選手のレベルアップを目指し、指導者の指導力と資質の向上を図る。
- 4 講 師 日本野球連盟(JABA)理事 阿久根 謙司氏 コーチング暦28年
- 5 参 加 者 小学生・中学生・高校生の指導者及び関係者
大学野球・社会人野球の選手及び指導者・関係者
長野県野球協会、地区協会の関係者

【参加者の内訳】 参加者数：134名 指導者・関係者89名 大学生45名

(1) 地区 北信：37名 東信：8名 中信：30名 南信：14名

(2) 所属チームカテゴリー

①中学生硬式：28名 ②中学生軟式：27名 ③中学生女子野球：2名

④小学生硬式：2名 ⑤小学生軟式：19名 ⑥小学生女子：0名

⑦高校生：6名 ⑧その他：5名(県協会役員) ⑨大学生：45名(松本大学)

(3) 役職 監督：20名 コーチ：50名 役員スタッフ：7名 その他：12名

6 講演内容(要約)

「木の上に乗って見ましょー ～子供の自立を引き出すコーチング～」と題したコーチング研修の内容であり、子供の自立を促す指導法とその社会への波及効果について話された。

スポーツ指導、特に野球の分野におけるコーチングの重要性と自立の促進について、従来のティーチング(指示命令)型の指導法とは対照的に、コーチングでは質問を通じて選手に考えさせ、言語化させることで、自発性や問題解決能力を育むことを強調。また、成功体験の言語化とミスを受容が、選手の能動的な行動変容と成長を促し、これはスポーツだけでなく、社会で活躍するための自立した大人を育成することにも繋がると説明されています。さらに、指導者が傾聴と共感のマインドを持つことの必要性や、親や学校教育におけるコーチングの適用についても触れていた。午前中の菅野中学校での指導実践の引用が明快だった。(※掲載のPWを参照)

8 まとめ

- ・本講習会参加者対象を小学生から高校生の指導者及び関係者に加え、講師が社会人野球関係者であることからそこに直結する大学生や社会人野球選手と指導者に広げたところ、松本大学の1~3年生の選手多数に参加してもらい有意義であった。
- ・参加者の感想「自分は教師・高校野球の顧問を目指していて、指導力という部分に悩んでいたところ阿久根さんのお話を聞いて、答えを与えるのではなく生徒にヒントを与えて導き出す、生徒に考えさせるという指導が1番いいと思いました。貴重な時間をありがとうございました。(松大)」
- ・長野県内のすべての野球関係者に限らず、スポーツに関わる方すべてに聞いて欲しい研修でした。

